

教育目標  
やさしい子  
挨拶の習慣  
かしこい子  
家庭学習の習慣  
たくましい子  
手洗い・正しい姿勢の習慣

# 学校だより

令和6年2月8日(木)  
島原市立第一小学校 No10

## 「やさしい子・かしこい子・たくましい子」

～ 良い習慣を身につける。(挨拶・家庭学習・手洗い、正しい姿勢) ～

「良い習慣を身につければ、良い人生へと変わる。」このことをふまえ学校では子どもたちの「良い習慣づくり」に力を入れています。この考え方は昔から受け継がれ、代表されるのは「挨拶・返事・はきもの揃え」(躰の3原則)ですが、提唱されたのは、明治生まれの教育者「森 信三」先生によるものです。

そこで、「学校だより No1」でお知らせしたように、一小では、今年度も子どもたちの「良い習慣づくり」に取り組みました。その取組の結果は次のとおりです。

### 【やさしい子 挨拶の習慣】

今年度も全学級で学級部会のテーマの一つとして取り組んでいただきました。その結果第2回(12月実施)の学校評価では「家庭で、子どもと挨拶をしている」という項目の「良い、どちらかと言えば良い」が、保護者の96%になりました。地域での挨拶は、学校や家庭に比べると、できる子とそうでない子に分かれているようですが、毎日、交通指導で立っていると、できる子が多くなっていると実感しています。

### 【かしこい子 家庭学習の習慣】

学力を伸ばすためには、学習時間が大きく影響しますので、大切な習慣です。そこで、家庭学習時間の目標として低学年30分、中学年60分、高学年90分としています。昨年の11月に1週間家庭学習カードで調査を行いました。その結果は以下の通りです。

平均学習時間 低学年 約45分 中学年 約60分 高学年 約65分

特に、低学年のうちに、家庭学習に取り組む習慣が身についている子が多いことが分かります。また、週末(土・日)の家庭学習時間が短い子や学年が上がるにつれて学習時間に個人差が大きくなる傾向が見られます。

学習の成果をあげるためにには、時間の長さだけでなく時間の質(内容)が関係します。

### 【たくましい子 手洗いの習慣】

冬休み中の手洗いの状況についてアンケートを取りました。結果は以下の通りです。

「外から帰った後の手洗い」について「必ずした。だいたいした。」の結果(3年以上)

3年 92% 4年 97.5% 5年 97.2% 6年 94.2%

コロナ・インフルエンザなど感染症への予防として、ぜひ身に付けておきたい習慣ですので、100%をめざしたいものです。

### 【たくましい子 正しい姿勢の習慣】

今年度から「立腰」を取り入れ、正しい姿勢の習慣づくりに取り組みました。朝、おおむね毎日「立腰」を行ったことで正しい姿勢をとることが習慣化しつつあります。姿勢だけでなく静かに落ち着いた雰囲気の中で1日の教育活動が始まるることも良いことです。

今後も、子どもたちの将来を見据えて身に付けなければならない良き習慣の確立をめざして行きますので、保護者・地域の皆様のご支援・ご協力をお願いします。